



雫石町企業紹介 ガイドブック

Shizukuishi
Company Guidebook



目次

File 01 水道施設工事 株式会社 アクール工業 …… P.1	File 13 高級機械式腕時計組立 盛岡セイコー工業 株式会社 …… P.25
File 02 農業 有限会社 ファーム菅久 …… P.3	File 14 燃料供給事業 有限会社 千葉燃料店 …… P.27
File 03 醤油製造販売 株式会社 宮田醤油店 …… P.5	File 15 紙器製造販売 東北紙器 株式会社 …… P.29
File 04 介護施設 株式会社 航和 …… P.7	File 16 老人ホーム 特別養護老人ホーム 日赤鶯鳴荘 …… P.31
File 05 建設業 株式会社 中村建設 …… P.9	File 17 住宅設計・建築 住工房森の音 有限会社美建工業 …… P.33
File 06 建設業 岩井建設 株式会社 …… P.11	File 18 花苗直売 有限会社 姫園芸 …… P.35
File 07 計測制御機器製造 岩手大崎電気 株式会社 …… P.13	File 19 道の駅運営 株式会社 しずくいし …… P.37
File 08 介護施設 社会福祉法人 康済会 …… P.15	File 20 ビール工場 株式会社 ベアレン醸造所 …… P.39
File 09 介護施設 社団医療法人 三和会 …… P.17	File 21 建設工事業 株式会社 ビルド遠藤 雫石営業所 …… P.41
File 10 建設業・サービス業 雫石砂利工業 株式会社 …… P.19	File 22 温泉接客業 ゆこたんの森 …… P.43
File 11 畜産業 株式会社 重次郎 …… P.21	File 23 日本酒製造・販売業 菊の司酒造 株式会社 …… P.45
File 12 建設業 有限会社 上中屋敷重機 …… P.23	



[紹介企業MAP]





水道施設工事

株式会社 アクール工業

●所在地 〒020-0541 岩手県岩手郡雫石町千刈田81番地
 ●TEL 019-692-5051 ●FAX 019-692-5052 ●ホームページ <https://aqur.co.jp>

HPは
コチラ

地域の人々のために、
暮らしに欠かせない水廻りを支える。



アクール (AQUR)は英語・フランス語で「水」を意味するアクア (AQUA)、「冷静・格好いい」を意味する英語のクール (COOL)、そして「心」を意味するフランス語のクール (COEUR)の3つを合わせた造語です。また、フランス語でア・クールは心を込めてという意味もあります。社名が示す通り、アクール工業は水に関わる様々な設備工事を行う会社です。1984年の創業当時から地域に密着した「水道屋」(旧社名はケーエヌ工業)として事業を展開し、2019年10月に社屋の移転に伴い、新たな社名に変更しました。



メインの事業は、行政から受注する上下水道施設工事等の公共工事、民間から依頼される給排水衛生設備、し尿浄化槽の工事等の水廻りに関連した工事になります。また地域柄温泉・熱水施設工事も施工実績があり、土木・建築・機械設備工事など幅広く手がけています。工事の規模によっては大手企業から請け負う場合もありますが、直接受けた仕事は、設計から施工、管理まで、すべて自社で完結できるのが同社の特徴。一貫して手がけることで、全工程での品質を保ち、メンテナンスや修理もスムーズに行うことができます。

設計から施工、
管理まで自社で
完結できます



こうした工事を担うのは、確かな技術と豊富な経験を持つ社員たち。若手からベテランまで21名の社員が働いていますが、向上心さえあれば資格を取り、作業員から監督へステップアップすることも可能です。そのため同社では、資格取得の支援に力を入れており、合格すれば報奨金を出したり、国家試験の事前研修会などの参加も助成金を活用して、社員をサポート。土木施工管理技士、建築施工管理技士、管工事施工管理技士など、多くの社員が資格を取得し仕事に生かしています。

また、ワークライフバランスも考慮し、有給休暇の取得促進。オンとオフを切り替えて働きたい若手社員や、家庭を持つ社員たちにも好評です。普通高校の出身でも、知識と技術を吸収し、成長できるアクール工業。自分の手で、自身の可能性を拓いてみませんか。



できることが増えていくと仕事は楽しくなる!

工務部 平 忠之さん

私は普通高校の出身で、水道関係の知識も全くありませんでした。でも、迷うよりも「まず、やってみよう!」と思って、この世界に飛び込んだんです。現場での作業やパソコンでの図面作成など、覚えることが多く大変でしたが、できることが増えていくのが楽しく、自信にもなりました。現在は、給排水工事の責任者、公共工事の現場代理人として現場を持ち、工事全体の管理を担当。年上の方に指示を出すことが多いので、職人さんに気持ちよく働いてもらえるよう相手を敬い、密にコミュニケーションを取ることを心がけています。大きな工事では苦勞も多いのですが、自分の考えた通りに工事が進んだ時はやりがいを感じますし、地域のためになる仕事を手がけているという誇りがあります。目標は、1級土木施工管理技士の資格を取得し、部長や先輩社員に負けられないような仕事をすること。まだまだ失敗すること多いのですが、日々の学びを大切にしながら頑張っていきたいです。

目標は、
1級土木施工管理技士の
資格を取得
すること!



【PROFILE】 1993年栗石町出身。地域に貢献できる仕事につきたいと考え、2011年に入社。未経験で入社したが、民間の修繕作業、公共工事の作業補助などを担当しながら、知識と技術を習得。給水装置工事主任技術者、2級配管技能士、2級土木施工管理技士などの資格を取得している。



File
02

農業

有限会社 ファーム菅久

●所在地 〒020-0504 岩手県岩手郡栗石町中沼277

●TEL 019-692-3310 ●FAX 019-692-5312 ●ホームページ <https://www.sugakyu.co.jp>

HPは
コチラ

常に挑戦し続けながら、農業の未来を変えていく。



「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という言葉をモットーに、より美味しく、より安全・安心な米づくりに取り組んでいる、ファーム菅久。日本人の主食であり、日本の食文化を育んできたお米を事業の柱とし、先進的な栽培法にチャレンジしながら、地域の農業を牽引してきました。



その原動力は、常にベストな栽培法を模索する探究心と、失敗しても決してあきらめない姿勢にあります。長年研究を重ね、地元の畜産農家と連携して開発した独自の堆肥を使い、減農薬・減化学肥料で育てられるお米は、自社ブランドの「たんたん米」として販売。ほとんどの農家がJAと取引する中、同社は直接販売する個別ルートを築き、直売所や個人の消費者へお米を届けています。また、さらに販売先を広げるため、関東・関西方面で行われる物産展などにも積極的に出展。お米を育てるだけでなく、自ら販促活動も担うことで、

お米の風味・甘味
を損なわないよう
乾式無洗米工法を
開発しました



個人の消費者とのつながりを広げてきたことも、同社ならではの特徴です。

地域の農業に対してもリーダーシップを発揮し、早い段階から町内の有休農地を預かって米づくりを行い、県内外から研修生を受け入れるなど、担い手の育成にも力を入れています。こうした取り組みが評価され、2008年には「平成20年度優良担い手表彰」と「法人・土地利用型部門農林水産大臣賞」、2014年には「第44回日本農業賞大賞」を受賞しました。

さらに、お米の風味・甘味を損なわないよう乾式無洗米工法を開発するなど、美味しさを極めるための研究にも余念がありません。農業の枠にとらわれず、「為せば成る」という信念のもと、新たな可能性を拓く挑戦を続けています。

LEGEND'S TALK

レジェンドに
聞け!

「大変なこと」こそ、やりがいがあると思う。

常務取締役

菅原 紋子さん

学 生時代からバレーボールに熱中していたこともあり、以前は一関市でインストラクターとして働いていました。私は三姉妹の次女なのですが、農業を継いでほしいという親の願いを受けてUターン。現在は、販売を中心に、営業、広報、総務の全ての業務を担当しています。お米を育ててお客様にお届けするまで、苦勞もあれば楽しいこと、嬉しいこともあり、そうした全部をひっくるめて「大変なこと」が、この仕事のやりがいだと思います。社長が長年かけて作り上げた生産技術は、うちの会社の最大の強み。5年先、10年先を見据えた米づくりをしてきたことが、今の成果につながっています。最近は米離れが進んでいることもあり、米以外の作物に挑戦することも必要だと考え、地域の若手生産者と一緒にビールの原料であるホップ生産を始めました。米づくりと作業が重なることもあって大変ですが、いずれはホップ事業を法人化し、地域の活性化につなげたいと思っています。

お米だけでなく、
ホップの生産も
始めました



[PROFILE] 雫石町出身。埼玉の短大で学び、栄養士の資格を取得。卒業後は栄養士として働いたのち、元々、運動が好きだったこともあり、一関市でインストラクターに。2010年に雫石町にUターンし、ファーム菅久に入社。岩手山が見える雫石の景色が大好き。休日は県外に旅行に出かけることも。

File
03

醤油製造販売

株式会社 宮田醤油店

●所在地 〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山林ノ沢67-106
 ●TEL 019-693-1110 ●FAX 019-693-4500 ●ホームページ <https://www.kiboshi.jp>

HPは
コチラ 

「キボシ」の愛称で親しまれる宮田醤油店は、1904年(明治37年)創業の歴史ある老舗。岩手山麓にある雫石の森の中に工場を構え、岩手県産大豆を中心に厳選した材料だけを使い、寒暖差の大きい気候を生かした醤油づくりに取り組んでいます。製造する商品は、醤油を筆頭に、焼肉のたれやめんつゆなどの醤油加工品のほか、他社のPB商品の製造委託も行っています。



体制が変わったのは、2020年の6月。山田町の株式会社尾半ホールディングスに株の譲渡を行い、同社の社長が経営を担うことになりました。この2つの会社をつないでいたのが、「山田の醤油」。震災前に(株)びはんコーポレーションが宮田醤油店に製造を委託していたことが功を奏し、唯一、津波の被害を免れたのが「山田の醤油」でした。こうした縁もあり、新たな体制になった宮田醤油店の主力商品は、「山田の醤油」。SNSや新聞などでの広報活動をはじめ、地元飲食店やスーパーマーケットへの地道な営業活動により、販売量が増加。コロナ禍でも順調に増収を続け、今や会社の看板商品に成長しました。

津波の被害を免れた
「山田の醤油」は
看板商品に成長
しました



社員数は、パート社員も含めて14名。少数精鋭ではありますが、年齢層が幅広く、チームワークも良好。残業もほとんどないため私生活との切り替えがしやすく、また、仕事に必要な資格取得にかかる費用などは会社がバックアップしてくれます。目指しているのは、「岩手の味」として宮田醤油店の醤油づくりが認められること。そして、いずれは海外での日本食ブームに対応できる新たな醤油を、岩手と共通点の多いスペインで製造すること。夢を大きく広げながら、今後は海外展開も見据えつつ、さらなる販路拡大を進めていきたいと考えています。



人のことを考えて動く、仕事で一番大切なことです。

製造部

かみうったない

上打田内 翼さん

前 職ではいわて生協のミートセンターで製造に関わっていたのですが、醤油づくりは全くの未知の世界…。不安もありましたが、思い切って新たな道に飛び込みました。私の仕事は、倉庫内の管理がメイン。製造された商品にラベリングして商品を管理、その後、営業担当者に引き渡すまでを担当します。製造と販売の間を橋渡しすることが仕事です。そのほかにも、12月には醤油の仕込み作業を行う仕事もあります。会社に入って学んだのは、チームワークの大切さ。醤油づくりはもちろん、製造と営業も協力が必要ですし、自分の仕事はお客様のところまでつながっています。人のことを考えて動くことを、日頃から心がけていますね。もともと、ものづくりが好きなのもあり、商品が形になっていく様子を見るのは楽しいですし、スーパーで自分が手がけた商品を見ると喜びを感じます。今はまだまだですが、いずれは醤油づくりを任せてもらえるようになりたい。後輩や先輩からも信頼される人になりたいです。



会社に入って
チームワークの大切さを
学びました

[PROFILE] 盛岡市出身。いわて生協から転職し、2019年に宮田醤油店に入社。従業員数は少ないが、そのぶん団結力が強く、それぞれの分野のプロフェッショナルが誇りを持って仕事をしているのが、会社の強みだと感じている。


File
04

介護施設

株式会社 航和

●所在地 〒020-0544 岩手県岩手郡栗石町柿木5-4

●TEL019-692-3669 ●FAX019-656-9079 ●ホームページ <https://www.kouwa.iwate.jp>HPは
コチラ

最新のテクノロジーを活用し、
介護の常識を変えていく。



「カーテンを開けて」「エアコンをつけて」と声をかければ、全て自動的に操作が行われる介護スマートルーム。AIを導入することで、カーテンの開閉や家電のオン・オフなどの操作を自動化し、家族と入居者の通話も自由にできる居室を開発。面会も業務も効率化できる先進的な試みとして、業界から大きな注目を集めています。



これらを活用しているのが、介護施設の運営を中心に事業を展開している航和です。前進は整骨院としてスタートし、2007年に法人化。現在、住宅型有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅の「介護施設運営」、「デイサービス」、「訪問介護」、「整骨院事業」の4事業を展開しています。業界の中でも同社が抜きん出ているのは、「テクノロジー」を駆使して現場の課題を解決していること。介護職員の負担となっていることは何か。原因を調査すべく、従業員にヒアリングを行いました。とある従業員からの「介護が大変というわけじゃないんです。事務作業が大変なんです」という言葉をきっかけに、「事

「テクノロジー」を
駆使して
現場の課題を
解決しています



務負担」の軽減に向けて、社内事務作業のペーパーレス化を推し進め、社内での報告や情報共有もクラウド上
でできるシステムを構築。これによって事務作業が軽減され、離職率も下がるなどの効果生まれ、2019年全
国中小企業クラウド実践大賞では「全国商工会連合会会長賞」を受賞しました。

他にも働きやすい環境の整備に力を入れており、産休・育休制度はもちろん、子供の学校行事の際も休みが取り
やすいよう人員配置を行うなど、女性が長く働ける職場づくりに配慮。また、キャリアアップ制度も充実させ、「技
術者コース」「管理者育成コース」「経営者育成コース」の3コースを用意し、個々の希望に合わせてキャリア
を育める環境を整えています。地域に根ざした経営に軸足を置きながら、「介護業界を変える」新たな取り組み
に挑戦する航和。ここから介護の未来が変わっていくかもしれません。



常にフラットにフレキシブルに、新たなことに挑戦したい。

「中央通ななかまど」施設長
千葉洋平さん

私が施設長を務める「中央通ななかまど」は、住宅型
有料老人ホームとデイサービスが併設された施設で
す。入社当初は、デイサービスの相談員として働いてい
たのですが、徐々にデイサービスの管理から施設全体の
管理を任されるようになりました。現在は、施設長として
入居者様の入退去手続き、職員の労務管理や採用、ケア
マネージャーや入居者様のご家族とのやりとりのほか、
デイサービスの相談員も兼務しています。マネジメント
の仕事も重要ですが、現場で入居者様と触れ合う時間は、
一番やりがいを実感できる時。入居者様やご家族から感
謝の言葉をいただくことがあり、一生懸命やってよかつ
たと思える瞬間です。介護を取り巻く環境が変化してい
く中で、これから求められるのは「フレキシブル」な対応
力。その点、当社はフットワークが軽く、トップや幹部が
柔軟な考え方を持っているのが大きな強み。私自身も現
状に満足せず、今後の業界を見据えた介護付き有料老人
ホームなど、新しい事業形態の施設やサービスにチャレ
ンジしていきたいと思っています。



入居者様と
触れ合う時間は、
一番やりがいを実感
できる時です

【PROFILE】 栗石町出身。ものづくりの専門学校を卒業後、
地元で家具の修繕を行う仕事をしていましたが、介護に興味を持ち、
介護士の資格を取得。その後、介護の会社へ転職し、デイサー
ビスの仕事に従事。介護支援専門員の資格を取得し、2015年
に航和に入社。



File
05

建設業

株式会社 中村建設

●所在地 〒020-0553 岩手県岩手郡雫石町下曾根田69
●TEL019-691-1100 ●FAX019-691-1102 ●ホームページ <http://www.nakamura-kensetu.com>

HPは
コチラ

豊富な実績と高い技術力で、
地域の未来を創造する。



創業は昭和20年。雫石町内の建設会社の中でも最も歴史のある中村建設は、これまで数々の建設・土木工事に携わってきました。メインとして手がける土木工事は、その9割が国や地方自治体から依頼される公共工事。道路や橋梁、砂防ダム、圃場整備、災害復旧工事など、あらゆる種類の工事を手がけてきた実績があり、工事における豊富な経験とノウハウ、高い技術力には定評があります。



特に工事の精度は高く評価されており、公共工事の入札参加資格制度では A等級。これは、一級土木施工管理者の資格を持つ技術者が多く、安定した経営を行なっている企業のみが受けられる評価です。また、工事が完了した際の工事成績評定点も非常に高く、盛岡広域振興局の管内にある A等級の会社のうち、ここ5年間の平均点数ではトップクラスに位置付けられています。この高い技術力を支えているのが、豊富な現場経験を持つ百戦錬磨の社員たち。現場リーダーとなる監督社員が集まる毎月の工程会議

近年は
情報通信技術を
積極的に導入
しています



では、それぞれの現場の工事の進捗状況や問題点などを共有。全員で全ての状況を把握することで、個々の現場へフィードバックし、工事の精度を高めています。また、資格取得を目指す社員には、勤務時間内での資格勉強をサポートしたり、受験料を負担するなど、手厚くバックアップ。社員一人ひとりの向上心を後押ししながら、会社全体のレベルアップに努めています。近年は、ドローンで測量するなど、情報通信技術を活用したICT施工が取り入れられており、同社でも積極的に導入。より安全により効率的に工事を進めることで、生産性を高めながら働く環境の改善にも取り組んでいます。



工務部

佐藤顕太郎さん

まちの財産として、何十年も残る仕事です。

最 初は現場の作業員として入社したのですが、「管理をやってみないか？」と言われたことをきっかけに一念発起。毎日仕事が終わってから猛勉強し、1級土木施工管理技士の資格を取得しました。現在は、施工管理の仕事を担当し、現場監督として工事の始まりから完成するまでの全ての責任を担います。現場監督はその現場では立場上トップではありますが、自分の意見を押し付け過ぎないように、職人さんたちの意見も尊重しながら、働きやすい環境づくりを心がけています。うちの会社は、河川・砂防工事の実績が豊富で、ノウハウと技術を持った技術者が多いのが特徴。現場の声を取り入れて、現場に必要な ICT 機器を導入するなど、現場を大事にしてくれる会社です。土木・建設関係はきついイメージがあると思いますが、ICT 機器を活用した施工の広がりによって、女性でも若者でも活躍できる環境が整ってきていますので、興味のある人はぜひ挑戦してほしい。自分の携わった工事が形になり、何十年もずっと残る仕事はそんなにありませんから。



女性でも若者でも
興味のある人は
ぜひ挑戦してほしい

[PROFILE] 秋田県出身。結婚を機に栗石町に移住し、2009年に中村建設に入社。1級土木管理技士の資格を取得し、作業員から現場監督へステップアップ。砂防工事を得意とし、作業員だった経験も生かしながら職人たちとコミュニケーションを取り、工事全体を統括している。



File
06

建設業

岩井建設 株式会社

●所在地 〒020-0571 岩手県岩手郡雫石町大字繁第5地割字塩ヶ森175-7
●TEL019-692-1181 ●FAX 019-692-1183 ●ホームページ <https://www.iwai-kensetsu.co.jp>

HPは
コチラ

暮らしに役立つ道路や建造物を、
大切に守っていくために。



道路にしてもダムにしても、完成することだけがゴールではありません。完成をスタートとして、長く人々に使われ、ずっと役に立ち続けることが本来のゴール。そのために欠かせないのが、壊れたり老朽化した部分を修繕し、機能を維持するための工事です。



岩井建設は創業以来、国・県・町からの公共土木工事をメインに、道路、ダム、農地整備、災害復旧工事など多種多様な工事を手がけてきました。新規の大規模工事も多いのですが、特に豊富な実績を誇るのが維持関連工事です。

道路も建造物も、定期的にメンテナンスが必要なものの。大規模なものは数十年単位で必ず工事が発生します。工事はその都度入札がありますが、同社の場合は、これまでの実績と蓄積したノウハウを強みに、多くの維持関連工事に携わっています。その一方で、力を入れているのがリサイクル事業。工事をする上

メンテナンスが必要な
維持関連工事の
実績が豊富です



で自然との調和や環境共生を考えることは、大事なことです。産業廃棄物の中間処理場を作り、建設廃材を再利用することで限りある資源を大切にしています。

社員数は43名で、施工管理者と現場作業員で構成。資格取得のための補助制度もあり、作業員から施工管理者へのキャリアアップを支援しています。また、産休・育児制度も整え、男女を問わず取得を奨励。まだ男性社員の中で育児休暇を取得した人はいませんが、子供が病気などの際は仕事を休めるなど、子育てしやすい環境を整えています。〈人は人によって磨かれる〉Human、〈限りある資源を大切に〉Nature、〈優れた技術でより良いものを〉Quality、〈輝ける未来に〉Future。この4つのキーワードを経営方針として掲げ、岩井建設は地域の未来創りを支えています。



手がけた工事が「地図に残る」、誇らしい仕事です。

工事部
吉田和彦さん

高 卒で入社した当初から、施工管理者として成長することが求められ、ずっと現場を管理する仕事に携わってきました。施工管理者になるためには資格も必要で、私の場合は、実務経験を積んでから2級から1級へと段階的にチャレンジ。短期間で集中して勉強に取り組み、最終的には1級建築施工管理技士の資格を取得しました。入社して36年目ですが、下水関連、道路、橋梁、災害復旧など、多種多様な工事を経験。仕事内容も、現場の指揮や進捗確認だけでなく、資材や部材の発注から労務管理、クライアントとの打ち合わせなど、多岐に渡ります。様々な書類の作成や作業員の方とのコミュニケーションを円滑にするなど、工事の過程では様々な苦労がありますが、自分の携わった工事が「地図に残ること」「形に残ること」が大きなやり甲斐であり、醍醐味です。職場の同僚はみんな気心が知れた仲であり、良い人ばかりですが、若い世代が少ないのがネック。最初は作業員の仕事についたとしても、いずれは施工管理を目指すような向上心のある人に入ってほしいですね。



[PROFILE] 1967年盛岡市出身。ずっと野球をしてきたこともあり、強豪校だった盛岡工業高校の土木科に進学。就職活動の際は、当時の先生の勧めもあって岩井建設に入社。以来、施工管理者として様々な工事を幅広く手がけている。

様々な製品
レパートリーに
対応できる
柔軟な生産体制です



組立・試験・完成保管・出荷までを一貫して管理することで、品質の高い製品づくりを実現しています。

勤務体制は日勤のみで働きやすく、残業しないよう業務配分を調整したり、有給休暇の取得を促すなど、ワークバランスを考えた環境づくりに配慮。育児・看護・介護などに対応した休暇制度や、保養のための宿泊補助金なども支給しています。時代のニーズに合わせて、IOTやAIなどに対応した機器の開発を進めている OSAKIグループ。主要生産拠点としての役割を担いながら、さらなる技術の進化に取り組んでいきます。

LEGEND'S TALK



自分のアイデアで問題を解決、それが醍醐味。

製造部生産技術グループ兼
製造第4グループ主任
吉田一貴さん

工場という組み合わせのイメージを持つ人も多いと思いますが、そうではありません。私が担当しているのは、製品を作るための機械そのものを作る仕事。製品の仕様によって生産ラインも変わるため、機械の設計をゼロから手がけているんです。他にも生産に関わる器具を効率化するために改良を加えたり、治工具自体を開発するなど、様々な知識とアイデア、それを実現する技術が求められます。工場にとって設備トラブルは、生産数に影響を与える重要課題。問題が発生した時に、自分のアイデアや作った治工具でトラブルを解消したり、作業効率をアップさせることができた時には大きなやりがいを感じますね。うちの会社の製品は高い品質を誇っていますが、それを支えているのは高い技術力と社員のモチベーション。チャレンジしたいことがあれば、応援してくれる環境があります。目標は、高い次元での品質と生産効率の両立。設備や生産を補助する機器を活かしながら、バランスよく生産できるよう努力していきたいです。

目標は、
高い次元での品質と
生産効率の両立
です



【PROFILE】 1990年堺市出身。高校時代に学んだ生産技術の知識と技術を生かしたいと考え、入社。現在は管理業務をメインとし、設計から加工・組立・ソフトまで幅広く手がけている。プライベートでは4歳と2歳の二児のパパ。堺市は子供と遊べるレジャー施設や支援制度も多く、子育てに優しい町だと感じている。



介護施設

社会福祉法人 康済会

●所在地 〒020-0572 岩手県岩手郡栗石町西安庭26-130-1
 ●TEL 019-692-5888 ●FAX 019-692-5882 ●ホームページ <https://www.uguisu.or.jp>

HPは
コチラ

障がいのある方が、
自分らしく安心して暮らせるように。



介護を必要とする人には様々な人がいます。お年寄りはもちろん、若くても病気などで寝たきりの人もいますし、障がいを持った人たちもいます。康済会がサポートするのは、重度の障がいを持った方々。人格と個性と意思を尊重し合う共生社会を目指し、誰もが、その人らしい生活が安心して送れるよう、敬意と感謝の念を持って支援しています。



同法人が運営するのは、障害者支援施設うぐいすの郷と併設してデイサービスセンター。滝沢市に訪問看護ステーション滝沢があります。うぐいすの郷は、全居室に電動ベッドとナースコールを設置。「生活介護・入所支援」として、食事・入浴・排泄など、日常生活に必要な介護を行い、安心して毎日が送れるよう支援しています。また、一時的に入居者を預かる「短期入所」や、障がいのある方やそのご家族からの相談を受け、必要な情報提供やアドバイスなどを行う「計画相談」、日帰りのデイサービスも行っています。このような施設

日常生活で
安心して毎日が
送れるよう
支援しています



は、県内に9ヶ所のみ。うぐいすの郷ではブログや広報誌を通して、積極的に利用者の普段の様子を発信し、ご家族や外部の方々に届けています。

職員の年齢層は幅広く、女性が多い職場です。出産や子育てへの支援はもちろんですが、個々の事情や心身の健康状態に合わせた働き方ができるのも、同法人の特徴。子育てと仕事を両立する職員もいれば、病気の治療を受けながら働く職員もあり、その状況を周囲が理解し、大変な時は仕事をカバーしています。また、新人職員に対しては、3人1チームで指導。世代が異なる職員が混ざり合うことで、多様な視点やアドバイスが得られ、様々なことが吸収できます。無資格、未経験でも心配はありません。働きながら介護福祉士の資格を目指す人も多く、職員のキャリアアップを手厚くバックアップしています。

FRESHER'S TALK

フレッシュな
職員に
聞け!

介護福祉士の資格を取り、利用者さんを支えたい。

上和野美咲さん

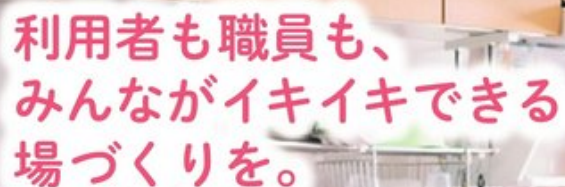
もともと高校で介護の勉強していたこともあり、いずれは介護職につきたいと考えていました。でも、若いうちに色々な経験を積みたいと思い、関心のあったブライダル専門学校に進学しましたが、コロナ禍によって業界全体が厳しく、予定より早く介護の道に進んだんです。仕事内容としては、食事・入浴・排泄のお世話など、生活全般の介助が中心。利用者さんに喜んでもらえるよう、常にコミュニケーションを取り、細やかなケアを心がけています。人によって障がいや度合いや体格が異なるため、体の大きな方だと介助の際に体を移動させるのが一苦労。力仕事もあって大変なこともあります。利用者さんから「ありがとう」と言われるのが一番嬉しいですね。10代の職員は私だけですが、20代の先輩職員も多く、みんな優しく、利用者さんも温かい人ばかり。仕事はまだですが、ゆくゆくは介護福祉士の資格を取って、利用者さんをしっかり支えられる職員になりたいと思っています。



利用者さんから
「ありがとう」と
言われるのが
一番嬉しいです

【PROFILE】2002年磐石町出身。盛岡農業高校人間科学科で介護を学び、卒業後はブライダルの専門学校に進学。専門学校を中退し、2021年1月に入職。磐石町は自然が豊かで、ずっと住みたい町。写真を撮ることが趣味で、町内の様々な公園を探し歩いては、好きなショットを撮り貯めている。

●所在地 〒020-0502 岩手県岩手郡雫石町板橋3-7
●TEL 019-692-3336 ●FAX 019-692-3371



多彩な
レクリエーションを
行なっています



こうしたサービスは、豊かで楽しい老後を送ってほしいという想いの現れ。利用者を支える職員も、常に利用者の気持ちを優先して働いています。約100名いる職員の7割が女性のため、妊娠・出産や子育てを支援する環境が整っており、三和会では仕事と家庭の両立が当たり前。また、資格取得も推奨しており、高卒で入職しても介護福祉士の資格を取ることができます。介護は、お年寄りの心に寄り添い、人生を支える仕事。誰かの役に立ちたいという想いを、三和会は手厚くバックアップします。



「楽しむ」心が、お年寄りの人生を豊かにする。

療養部長
佐々木由紀美さん

私の職歴は、少しユニークです。高校卒業後はバスガイドになり、その後は看護師の資格を取って病院に勤務、現在は療養部長として、看護と介護の両部門を統括しています。一見、介護とは関係ないバスガイドの仕事も、レクリエーションなどに役立ちますし、全ての経験が私の強みとして仕事に生かされています。介護という大変なイメージがあるかと思いますが、私が心がけているのは利用者の皆さんを「楽しませる」こと。ただ余生を過ごすのではなく、「楽しむために」私たちの施設に入ってほしいと思っています。介護は、人と人との関係性の上に成り立つもの。日々コミュニケーションを積み重ね、利用者の心が開いた時、この仕事について本当に良かったと感じるんです。だから、資格とか学歴は関係ありません。人に興味があり、お年寄りを支えたいと思う気持ちが一番大切です。面白い施設だと注目されるように、月1回のカフェ、3か月に1回の居酒屋を行っていて、来年度は平石町と協力して認知症カフェを行っていきます。将来、認知症の方が安心して利用できる居酒屋やカフェを営むことが私の夢。「楽しむこと」こそ、人生を豊かにするコツですから。



利用者の皆さんを
「楽しませる」こと
心がけています

[PROFILE] 宮古市出身。高校を卒業後、東京でバスガイドの仕事につくが、何か資格をと思い、介護職に就いた。その後、介護では手をつけられない分野の医療の資格を取得したいと考え、子育てをしながら看護学校で学び、准看護師の資格を取得。岩泉町内の介護施設で働いたのち、盛岡市で正看護師の資格を取り病院勤務。特別養護老人ホームでの勤務を経て2018年三和会に転職。

HPは
コチラ 



9事業を展開し、幅広い知識とスキルで
会社を強くする。

栗石町企業紹介ガイドブック

豊富な経験で
培った柔軟性
があります



らに深めていきたい人にとっては最適な職場です。働く環境についても、業界に先駆けて IT化を導入。コロナ禍前からリモート会議や在宅ワークを実践しており、社員間にも ITツールを取り入れ、誰がどこで何をし、どんなことで困っているのか、リアルタイムで共有、発信できる仕組みを作っています。よほどのことがなければ時間外勤務や休日出勤はなく、子育て支援や有給休暇の取得も積極的にバックアップ。

今後は、さらに社員の負担軽減につながる IT化やロボット化を進めながら、建設業やサービス業などで、地域内の企業や個人との連携にも取り組みたいと考えています。

LEGEND'S TALK



経営管理部
庄司拓史さん

全体の動きを把握し、常に次のことを考える。

うちの社員たちはそれぞれ仕事に対するプロ意識が高く、自分で考え動くことができる人が多いのが大きな強みですが、私の場合、求められるのはオールマイティな管理能力。会社が多業種展開をしていることもあり、WEBサイトの制作・デザイン、プログラミング業務に加え、社内のシステム管理者・経理の責任者をつとめ、さらには取得した一級土木施工管理技士の資格を活かして、工事現場の監督業務も担っています。複数の業種の業務を一度に管理することは大変ですし、その都度、頭を切り替えて仕事に当たらなければなりません。でも、幅広い知識やスキルを吸収できることは純粋に楽しいですし、大変なぶんだけやりがいと達成感を感じることが出来ます。プライベートでは、2児の父親として子育ての真っ最中。子どもの医療費が高校生まで無料であったり、自然も多く盛岡にも近いなど、雫石の住環境はベストですね。休日は、家族と過ごしたり、趣味のベースを楽しんだりしています。早くコロナが収束して、堂々と出かけたりバンド活動ができるといいなと思っています。



幅広い知識やスキルを
吸収できることは
純粋に楽しいです

【PROFILE】1974年生まれ。父親が県職員で転勤族だったため、花巻市、久慈市、盛岡市、北上市で過ごす。社会人になった当初はソフトウェアのエンジニア兼インストラクターとして働き、その後転職を経て、2008年に同社に入社。現在は雫石町在住、小学3年生と6年生の良きパパ。ベースを弾くのが趣味。



畜産業

株式会社 重次郎

●所在地 〒020-0583 岩手県岩手郡栗石町上野新里5-4
●TEL 019-692-1763 ●FAX 019-692-1831

常識に縛られない自由な発想で、
日本の畜産を変えていく。



みんなが当たり前だと思っていることを、「なぜ?」「どうして?」と考えたことはありますか。会社経営でも「革新者」と言われる経営者は、世の中の常識を疑い、人とは違う角度から物事を考える視点を持っているものです。重次郎の中屋敷敏晃社長も、独自の哲学を持った経営者。7年間勤めたホテルを辞め、2004年に就農。わずか1頭の和牛繁殖からスタートし、ホテルで培ったビジネス感覚や発想を取り入れ、繁殖牛生産を中心に、ユニークな畜産経営を行っています。



例えば、多くの繁殖農家(牛を繁殖させ子牛を育て販売する農家)は、自分の育てた子牛がその後どのように育てられ、評価されているのか、あまり気にしません。しかし同社では、顧客の評価やニーズをしっかりとリサーチし、子牛の肥育に反映するなど、通常のビジネスで大切にしていることを畜産の現場にも応用しています。

他にも子牛の飼養方法の改善や新しい牛「ジャー黒牛」の交配など、試行錯誤を重ねながら独自の生産スタイルを確立。現在では、358頭の牛を飼育する

ロボット哺乳など
新しい技術も
積極的に
取り入れています



までに規模を拡大し、「畜産」「パン製造」「運送」の3部門を事業の柱として展開しています。その根底で大事にしているのは、様々な顧客や消費者のニーズに応えること。「畜産業」は生き物への気配りが大事な「サービス業」であり、口に入るものを育てる「食品製造業」であると捉え、従来の概念に縛られない「感性」を大切にしています。

新たな技術の導入など作業の省力化も図りながら、次に見据えているのは、重次郎の牛づくりのストーリーやこだわりを直接、消費者に届けること。子どもたちに対して「食育」を通して、食の大切さ、農業の大切さを伝えていきたいと考えています。



会社で学んだことを、故郷のために活かしていきたい。

小野沢りんさん

私の実家は農家ではありませんが、農業高校で学んでいた時に、短角牛を放牧している岩手に興味を持ち、金ヶ崎町の農業大学校に進学しました。牛の飼育に携わろうと思ったのは、お世話になった地元に貢献したいと思ったから。重次郎は他の畜産農家とは違って経営がずば抜けており、ここなら自分の将来に役立つことが学べると思い、入社を決めました。朝夕は牛に餌をやり、日中はそれ以外の業務を担当していますが、牛も毎日同じではありません。その日の状態を見ながら餌をあげる時が、牛の飼育を学ぶ意味でも一番勉強になります。うちの会社のすごいところは、経営の柔軟性。ロボット哺乳など新しい技術も積極的に取り入れ、自由な発想で臨機応変に対応しているのが、大きな強みだと思います。基本的には力仕事なので、もっと体力をつけなければなりません、自分なりにできる仕事を頑張ることが目標。いずれは長野に戻って、未利用地を活用した牛の飼育・販売に挑戦したいと思っています。



未利用地を活用した牛の飼育・販売に挑戦したいと思っています。

[PROFILE] 2001年長野県出身。高校を卒業後、金ヶ崎町にある岩手県立農業大学校に入学。在学中に重次郎に研修に来た際に興味を持ち、土日にアルバイトとして通うようになり、2021年4月に入社。雫石町は長野に気候も似ており、交通も便利で住みやすいと感じている。

有限会社 上中屋敷重機

- HPは
コチラ



その名の通り、あらゆる工事に対応できる重機を取り揃えている同社では、道路工事だけでなく、様々な種類の土木工事や外構工事、舗装工事、住宅やビルなどの解体工事、地域のライフラインを守る除雪作業、重機・車両のリースなど、その仕事は多岐に渡ります。また、東日本大震災のような災害時にも対応し、がれきの除去や復旧作業に尽力しました。

このように同社が携わる仕事の数々は、私たちの暮らしや地域に欠かせないもの。重機を操り、工事に携わる社員たちも、自分たちが担う仕事の意義にプライドを持って働いています。重機による道路法面

道路建設という
地域の発展に
関わる仕事を
しています



の仕上げ工事など、高い技術が求められる工事の要請もありますが、依頼の内容に応じてその道のスペシャリストが活躍。重機の運転に必要な建設機械施工技士をはじめとした様々な資格取得も会社がバックアップし、社員が技術を身につけ、成長できる環境を整えています。

「自然と人間にやさしさを」テーマに、様々な工事を通して地域の発展を支える上中屋敷重機。今後は、建設・土木のジャンルにとらわれず、農業分野に参入する道も見据えています。同社の技術と経験を生かして、担い手のいなくなった水田や休耕地を耕していく。近い将来、新たな事業に向かう挑戦が始まるかもしれません。

LEGEND'S TALK



わからないことを解決すると、仕事は楽しくなる。

土木部長
小野寺秀人さん

高 校を卒業して以来、ずっと建設・土木の仕事に携わってきました。自分の経験を活かすことができ、重機を扱っている会社であることがポイントになり、上中屋敷重機に転職。現在は部長として、見積り対応から積算、現場の打ち合わせ、原価・安全・工程管理など管理業務全般を担当しています。これまでいろいろな現場であらゆる工事を経験しましたが、常に念頭に置いているのは「安全」に工事を進めること。前職で大きな工事を経験したことがあるため、絶対に事故は起こさないし、起こさせない！という強い信念を持ち、社員たちに徹底しています。ですから、事故もなく工事を安全に終わらせることができた時は、何よりホッとしますし、無事にやり遂げた手応えを感じますね。初めはみんな素人ですから、わからなくて当たり前。でも、わからないことをそのままにせず、きちんと質問することが大切。うちの社員は面倒見の良い人が多いので、わからないことがあれば丁寧に教えてくれますよ。



常に
念頭に置いているのは
「安全」に工事を
進めること

[PROFILE] 1961年秋田県横手市出身。高校卒業後、全国に支社のある建設会社に入社。2002年に岩手県南地域にある建設会社に転職したのち、2006年に上中屋敷重機に入社し、部長に就任。盛岡市在住で、休日には夫婦で軽トラ市や道の駅栗石あねっこに行くことも。趣味は競馬。

File
13

高級機械式腕時計組立

盛岡セイコー工業 株式会社

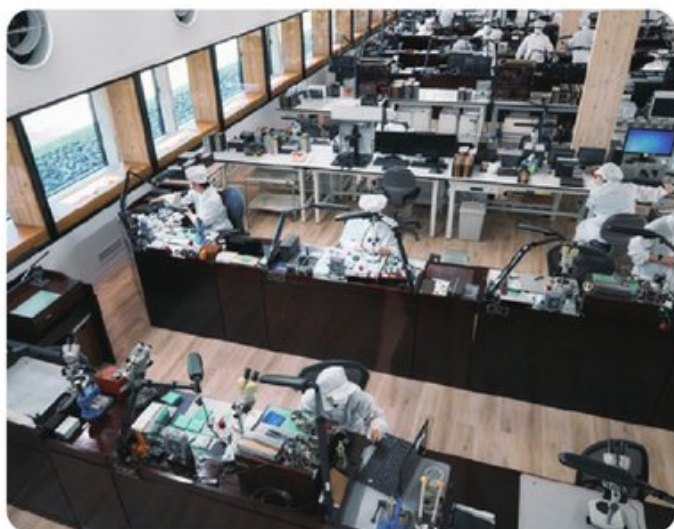
●所在地 〒020-0596 岩手県岩手郡雫石町板橋61-1
 ●TEL 019-692-3511 ●FAX 019-692-1170 ●ホームページ <https://www.morioka-seiko.co.jp>

HPは
コチラ

進化する時計づくりを、
雫石から世界に発信する！



時計は、どのような仕組みで動くのか、知っていますか。時計の心臓部であるムーブメントには、電池で動く「クォーツ式」とぜんまいで動く「機械式時計」の2種類があります。有名ブランドの高級時計の多くが機械式であり、盛岡セイコー工業がメインで製造しているものが高級腕時計「グランドセイコー」の機械式モデルです。



1970年にセイコーグループの製造拠点として誕生した同社は、部品製造から、組み立て、調整、検査までを一貫して行う世界でもまれな会社。「匠の心と、先進テクノロジーの融合」をモットーに、最高峰の腕時計づくりを目指しています。構内にある「グランドセイコースタジオ 雫石」では、熟練の技能士たちが時計づくりの全てを担い、千分の1ミリレベルの高い寸法精度の部品からなる機械式時計を作っています。その技術力は世界でもトップクラスで、スイスの検査機関の規格以上の厳しい検定規格を設け、より正確な機械式時計づくりに取り組んでいます。

千分の1ミリ
レベルの
部品から機械式時計
を作っています



こうした高度な技術や技能を育み、継承していくために、最も力を入れているのが人材育成。同社では、入社時から段階的に成長できる育成プログラムを設け、社員が希望するキャリアを実現できるようサポートを行っています。また、ワークライフバランスを保ちながら、安心して働ける環境づくりにも取り組んでおり、子育てに関わる制度の充実や女性が活躍できる環境整備も積極的に進めています。

雫石町という自然に恵まれた場所で、岩手の優れた技術を世界に発信し続ける盛岡セイコー工業。ものづくりに興味のある若者たちが、活躍し、成長できる場が、ここにあります。

LEGEND'S TALK

レジェンドに
聞け!

夢を持っていれば、努力することが楽しくなる。

組立士
齋藤勝雄さん

小さな頃からものづくりが好きで、時計づくりに興味を持ったのが入社きっかけです。高級機械式腕時計の組立部門に配属され、師匠の下で5年ほど修行を積みましたが、最初に命じられたのが厚さ 1.98 ミリの極薄メカニカルムーブメントの組み立て。中には 120 点を超える細かな部品が組み込まれているのですが、初日は1日かけても時計が全く動かず、力不足を痛感。ひたすら努力を重ね、4年目にようやく師匠から合格点をもらえるようになりました。ムーブメントの組み立てには高い技術が求められ、指先の感覚を頼りに 100 分の 1 ミリ単位で部品を調整しなければなりません。人一倍の集中力、忍耐力、粘り強さが必要ですが、こうして完成した時計が動き出した時には大きな達成感を感じました。現在は、後輩の指導に力を入れており、技能五輪で優勝できる人材を育て上げるのが目標です。夢を持って、それに向かって努力する大切さと喜びを伝えていきたいと思っています。



完成した時計が
動き出した時には
大きな達成感を
感じました

【PROFILE】1968年西和賀町出身。1986年に西根時計工業(盛岡セイコー工業子会社、1993年に合併)に入社。2008年に時計技能競技全国大会優勝、2016年にいわて機械時計士技能評価 IWマイスター認定、2017年に卓越技能者(現代の名工)として選定され、機械式ムーブメント組立・調整の第一線で活躍中。

File
14

燃料供給事業

有限会社 千葉燃料店

●所在地 〒020-0511 岩手県岩手郡栗石町長畑196-4
 ●TEL 019-692-1414 ●FAX 019-692-0121



お客様の困りごとを解決し、
日々の暮らしを支える。

ガスや灯油、軽油などの燃料は、私たちの毎日に欠かせないもの。当たり前にあるものだと思いますが、届けてくれる人がいることで、安心して暮らせることを考えたことはありますか？



千葉燃料店は、地域のライフラインを支えるため、灯油10万リットル、軽油10万リットル、機械などに使う A重油5万リットルと、**県内トップクラスの備蓄量**を抱え、**燃料の安定供給に努めています**。業務も幅広く、燃料周りの機器類や家電の販売・取り付け工事、ガス・石油機器のメンテナンスや修理、水周りのリフォームなど、暮らしに関わるあらゆることに携わっています。燃料の配達も自社で行なっているため地域との距離が近く、どんな小さな困りごとでもスピーディに対応できることが同社の強み。お客様と気軽に会話できる

小さな
困りごとでも
スピーディに
対応できます



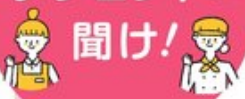
関係を築くことで、「なんでも頼れる燃料店」として様々な仕事を請け負っているのです。

従業員は5名と少数精鋭ですが、そのぶんコミュニケーションも円滑で、仕事での報連相も徹底。働き方改革にも力を入れており、2020年6月から変形労働時間制を導入し、閑散期の夏場に多く休みを取れるように改善しています。その結果、労働時間は短縮され、子どもの学校行事にも参加できるゆとりが生まれました。

今後の展開として考えているのは、検針業務のスマート・デジタル化。各家庭の検針データが会社を集約する仕組みを作ること、業務の手間を半分に省き、商圈も半径50キロまで拡大することができます。浮いた時間を他業務に回すことで仕事の質を上げ、同業他社が真似できない企業づくりを進めていきたいと考えています。

LEGEND'S TALK

レジェンドに
聞け!



営業課
富田晃祐さん

お客様に頼ってもらえることが信頼の証し。

営業担当として、各家庭にお邪魔してガスの検針や配送をメインに行っています。40キロのガスボンベを肩に担ぐため、ぎっくり腰(笑)になる時もありますが、お客様と接する仕事はとても楽しいです。たまに「電球を買ってきてほしい」とか、業務以外のことを頼まれることがあるのですが、それは私を信頼してくれる証拠。「富田さんだから」と、割高でもガス機器を購入してくれたり、灯油配送を頼んでくれるなど、お金や合理性ではないお付き合いをさせていただけるのが、とてもありがたい。どんなことでも気軽に頼ってもらえるよう、お客様とのつながりを大事にすることを心がけています。職場もアットホームで、みんな仲が良く、なんでも相談し合える和気あいあいとした雰囲気です。社長も含めて一緒に働いているメンバーが好きですし、自分自身もみんなの期待を裏切らない人間になりたい。扱うものは燃料ですが、お客様でも社員同士でも、人と人との関係づくりから始まると思います。



お客様とのつながりを
大事にすることを
心がけています

[PROFILE] 1983年栄石町出身。高校卒業後、ガソリンスタンドやガス屋で働いていたが、社長の誘いにより2008年に千葉燃料店に入社。妻と二人暮らし。休日は昼寝や映画・音楽鑑賞を楽しみ、気持ちをリフレッシュ。栄石は自然も豊かで生活利便性が良いところが気に入っている。

File
15

紙器製造販売

東北紙器 株式会社

●所在地 〒020-0572 岩手県岩手郡雫石町西安庭10-31-1
 ●TEL 019-692-0333 ●FAX 019-692-5321 ●ホームページ <https://tohokushiki.com>

HPは
コチラ

パッケージで物流と暮らしを支える、
北東北で唯一の会社。



お菓子も果物も洋服も、私たちの身の回りのあらゆる商品は、様々なパッケージに包まれて手元に届きます。なかでも一番身近なものと言ったら、段ボール。この段ボールや紙器、クッションとなる緩衝材など、様々なパッケージと関連製品を手がけている会社が、東北紙器です。設立は1960年ですが、2014年に世界的メーカー・レンゴー（株）のグループ企業として再出発。北東北で唯一のパッケージング・ソリューション・カンパニーとして、地域の物流を支えています。



これまで段ボールや紙器は、梱包用として主に使われていましたが、最近は「包む」だけでなく、美しく「装う」デザイン性も進化。多様化するニーズにも速やかに対応し、木材+段ボール、組み立て納品、商品+ダンボールのセットアップなど、製造以外のプラスアルファを加えることで、サービスの差別化を図っています。

同社の経営方針は、「地域から・株主から・得意先仕入先から・そして社員とその家族から尊敬され愛される企業」。収益が上がれば、その分を給与やボーナスに還元するなど、会社の柱である社員を大切にしている風土があります。

多様化する
ニーズにも
速やかに対応します



学歴は関係なく、中卒も大卒も新入社員の初任給は一律。営業は成果主義、製造はどれだけ機械を使いこなせるかを評価し、頑張った人ほど報われる仕組みを作っています。また、目的を持った「計画有給」を勧めており、仕事以外に熱中できることを見つけ、プライベートの充実を図れるように後押し。他にも、年に二度社長との面接があり、率直に意見が言える風通しの良い環境も同社の特徴です。目指すのは、雫石のナンバーワン企業。地域の人材を採用し、地域に還元し、地域と共に発展する企業として、人々の暮らしと物流を支えています。

LEGEND'S TALK



諦めずに頑張れば、必ず結果がついてくる。

製造部
貼合グループリーダー
浅沼秀秋さん

私 がリーダーをしている「貼合グループ」は、段ボールを貼った後のシートを確認し、不良品の有無をチェックすることが主な仕事。製造の最終段階ですが、このチェックを怠れば不良品が出回ってしまいますので、責任は重大です。生産性に関わるため、不具合のあるシートの選別・検品・機械の流れをいかにスムーズに行うかが大事。以前はよく機械が止まることがあったんですが、原因を探り、諦めずにコツコツと頑張った結果、担当してから2年目でトラブルが解消でき、社長に褒められた時はとても嬉しかったですね。うちの会社は、みんな人柄のいい人ばかりで、工場内の雰囲気もすごくいい。チームで頑張ろうという意識で、1人で2役こなせるよう後輩への指導にも力を入れています。これから入ってくる新入社員に望むのは、何よりやる気を持って仕事に取り組むこと。仕事は経験するうちに身につくので、わからないことは積極的に聞き、学ぼうとする気持ちを大事にしてほしいですね。



頑張った結果、
担当してから
2年目でトラブルが
解消できました

[PROFILE] 1987年盛岡市出身。盛岡工業高校を卒業後、在学中に取得した危険物取扱とボイラー技士の資格を活かせる会社と考え、入社。現在は、製造部のグループリーダーとして社員をまとめている。一度決めたことは最後までやり抜くのが信条。趣味は海釣り、冬はワカサギ釣りに出かけることも。



File
16

老人ホーム

特別養護老人ホーム 日赤鶯鳴荘

●所在地 〒020-0573 岩手県岩手郡雫石町南畑32-15-30
●TEL 019-695-2131 ●FAX 019-695-2576

地域の交流の場として、
相談の拠り所となる存在に。



一人ひとりが快適に過ごせる個室を基本とし、「病院」とも「施設」とも違う、家庭の延長のようなアットホームな雰囲気の中で暮らせる、特別養護老人ホーム・日赤鶯鳴荘。日本赤十字社を母体とし、1979年の設立以来、地域に密着したホームとして、地域の人々に親しまれてきました。



2017年には社屋を新しくし、4人部屋から全ての居室を個室にチェンジ。入所者一人ひとりに寄り添った、きめ細やかな介護を行っています。特徴的なのは、10名をひとくくりのユニットとして、8ユニット＝80名をケアする形式を導入していること。1ユニットのフロアには、それぞれキッチンを完備し、家庭での暮らしがそのまま続けられるように配慮しています。また、「看取り介護」を行っているのも特徴で、職員と看護師が協力して医療機関と連携しながら入居者の体調をケア。最期まで穏やかな気持ちで過ごしてもらうことができます。

入所者一人ひとりに
寄り添った、
きめ細やかな
介護を行っています



職員たちは、1ユニットにつき10名の入所者を5人のスタッフで担当。入所者にとって「暮らしの場」であることから、できるだけ「職場」感を出さないよう職員たちの服装も自由。24時間・365日体制のため、夜間などは少数でケアしなければなりません、責任を持って仕事に取り組むことは「自分の居場所」という自覚を育み、成長にもつながります。給与体系や休日、福利厚生などは、日本赤十字社に則っており、安定した環境で働けることもメリットの一つ。大変な仕事ではありますが、職員はみんなやりがいを持って働いています。今後は、地域とのお付き合いをさらに深め、このホームを公民館のような「交流の場」に。誰もが気軽に相談できるような、地域の「拠り所」にしていきたいと考えています。



こんなにも感謝の言葉をいただける仕事は他にない。

生活相談係長
藤本勝也さん

私 が所属する生活相談係とは、ケアマネージャーから依頼があった際に、ショートステイや入所の手続きを行う仕事のほか、入所者の健康状態をご家族に報告したり、病院の医療関係者と連絡を取ったり、多方面にわたって様々な調整を行う仕事です。介護の現場に入ることもあり、歩行や食事の介助だけでも入所者の方から「ありがとう」と言っていたことが多くあります。私たちがお手伝いすることで、ご家族の負担が軽減されたり、寝たきりだった入所者の方が活動的になったり、少しでも入所者やご家族の幸せに貢献できるのは、とても嬉しいことです。その一方で、ご家族との考え方の違いなどから苦情をいただくこともあります。そんな時は「速やかに」「ありのままの正しい情報」を提供し、理解していただけるように心がけています。高齢化社会が進む中、今後は介護で困る方がもっと増えていくことでしょう。そんな時に気軽に足を運べる場として、地域の支えになっていきたいですね。



入所者やご家族の
幸せに貢献できるのは、
とても嬉しいことです

【PROFILE】 堺市出身。以前は違う業界で働いていたが、地域の行事でお年寄りとお話する機会があり、福祉に興味を持ったことがきっかけで2004年に入職。堺市には温泉やスキー場をはじめ、観光スポットが多くあるのが魅力。自然も豊かで、子育てするにはベストな環境だと思う。

HPは
コチラ 



お客様に寄り添う
気持ちと
姿勢を大切に
しています



こうした美建工業の一番の強みとなるのが、「人」。社員一人ひとりが経営に関わる自覚を持ち、みんなで同じ思い、方向性を共有できるように、毎年の経営方針も全員で作成。資格取得や研修参加への補助など、社員の向上心を応援する制度はもちろん、産休育休制度といった働く環境整備も進め、社員が望む夢やライフスタイルを実現できるようサポートしています。

社員の成長を後押ししながら、地域に根ざした家づくりを展開する美建工業。今後は環境保全を中心に、社会問題や地域課題の解決につながるような取り組みも積極的に進めていきます。



コミュニケーションが、一番大事な仕事の基本。

櫻田亜貴子さん

入 社当初は事務方の仕事をしていたのですが、現在はお客様を担当し、契約から現場対応、引き渡しまでの全てを行っています。知識も経験もなかった私にとって、建築は未知の世界。最初は先輩について一通りの仕事を勉強しましたが、図面通りに現場は動きません。わからないことがあれば、後輩でも大工さんでも躊躇せずにコミュニケーションを取り、どんどん質問することを心がけました。当社の強みは、「お客様一人ひとりに合わせたご提案ができる」こと。ゼロからプランニングを行う注文住宅なので、お客様の話を聞きながらも、その真意をどれだけ汲み取れるかが大切。本当に達成したいことは何なのか、要望の先にあるお客様の目的を常に考えながら仕事をしています。家づくりの一方で、力を入れているのが働く環境の整備。良い住まいを提案するには、社員自身も家族との時間を大事にしなければなりません。特に当社は女性スタッフが多い会社ですので、結婚や出産を経ても辞めずに働くことができる環境づくりを進めていきたいと思っています。



お客様の目的を
常に考えながら
仕事をしています

【PROFILE】岩手県葛巻町出身。弘前市の大学の英文科を卒業後、イギリスへ1年間留学。帰国後、盛岡市内の大学病院で秘書業務に従事。櫻田社長と結婚後、アパレル販売などの仕事に就いたが、出産・子育てを経て、美建工業に就職し現在に至る。自然豊かで、食べ物も美味しく、日常的に温泉が楽しめる雫石が気に入っている。

File
18

花苗直売

有限会社 姫園芸

●所在地 〒020-0585 岩手県岩手郡栗石町長山セツ田27
 ●TEL 019-692-6001 ●FAX 019-692-5466 ●ホームページ <https://lalaclub.jp>

HPは
コチラ

このまちを花で彩ることが、
地域の元気につながるように。



小岩井駅から車で7分ほど行ったところにある「花工房らら倶楽部」は、姫園芸が運営する東北最大級の広さを誇る花の直売所。三千坪もの広大な敷地には、花苗を販売する「直売所」、散策が楽しめるイングリッシュガーデン、庭造りのグッズを揃えた「資材棟」、地元産の食材を使った料理が楽しめるレストランなどが併設されています。



もともと切り花事業を行っていた同社が、「らら倶楽部」をオープンしたのは1997年の春のこと。他にはない珍しい花苗を始め、豊富な種類の花苗を取り揃え、すべて自家農場で生産しているため、安価で提供できる強みがあります。また、ガーデニンググッズや資材も豊富で、庭造りを楽しみたい人にとっては、土作りに必要な肥料から苗、資材まで、すべて揃えられることも大きな魅力です。

ここで働く従業員は、みんな花が大好きな人ばかり。入社時は誰もが素人ですが、現場で花や植物の知識を身につけながら、グリーンアドバイザーやハンギ

豊富な種類の
花苗をすべて
自家農場で
生産しています



ングバスケットマスターの専門資格を取得する人も多く、確かな知識に裏付けられた接客や細やかな提案がお客様にも好評です。資格取得のための受験費用などは、すべて会社が負担。従業員の向上心やチャレンジをバックアップする環境を整えています。地域貢献にも積極的に取り組んでおり、「点である個人から、線となり面とする」との思いから、同社が中心となって観光スポット「長山街道グループ」を設立。現在は12名の観光関連施設等のメンバーで構成され、相互に顧客を紹介し合いながら、共に経営発展を目指すなど、地域活性化につながる希望の種を育てています。

LEGEND'S TALK



マネージャー
勝田雅子さん

花に囲まれて仕事をするのが何より嬉しい。

今でも覚えているのですが、初めて「花工房らら倶楽部」を訪れた時、たくさん花から「ようこそ!」と言われた気がしたんです。その印象がとても鮮烈で…、花に導かれるように入社しました。現在は、マネージャーとして会社全体の動きを把握しつつ、運営をサポート。資格を活かしてハンギングバスケットの制作や寄せ植えをメインで担当し、お客様にアドバイスや提案を行っています。当社は豊富な品揃えが特徴ですが、苗を販売するだけでなく、実際の植え方や資材の使い方、花の飾り方など、様々な提案ができることが最大の強み。そうした接客から信頼関係を築き、お客様のご自宅で花がきれいに咲いているのを見た時や報告を受けた時は、とても嬉しいものです。できることなら、「らら倶楽部」に来られないご年配のお客様に対し、ご自宅に出向いてガーデニングのお手伝いをしたいと思っています。花に囲まれた暮らしをお客様に楽しんでもらえることが、この仕事のやりがいからです。



お客様の
ご自宅で花がきれいに
咲いているの
を見た時は、
とても嬉しいです

[PROFILE] 宇石町出身。実家に帰る通り道にできた「らら倶楽部」に興味を抱き、店に立ち寄ったことが入社のかきかけ。創業間もない1998年に入社し、現在はマネージャーとして会社全体の動きを統括。ガーデニングマスター、ハンギングバスケットマスターの資格を持っている。



道の駅運営

株式会社しずくいし

●所在地 〒020-0582 岩手県岩手郡雫石町橋場坂本118番地10
 ●TEL 19-692-5577 ●FAX 019-691-2300 ●ホームページ <https://www.anekko.co.jp>

HPは
コチラ

魅力をさらに充実させ、
多くの人に愛される道の駅に。



岩手県と秋田県の県境にある「道の駅雫石あねっこ」、雫石町民なら一度は利用したことがあるのではないのでしょうか。産直や売店、飲食店のほか、温泉やキャンプ場、公園、ドッグランなどの施設もあり、買い物以外にもいろいろ楽しめる道の駅として観光客に人気です。



この道の駅を運営しているのが、雫石町の第三セクターである株式会社しずくいし。2000年4月に設立されて以来、施設拡大に取り組みながら順調に利用客を伸ばし、**旅行情報誌「じゃらん」**による道の駅の満足度調査(2021年7月発表)では、**全国で2位に選ばれる**など高い支持を集めています。その理由として挙げられるのが、あれもこれもと楽しめる多機能な施設が併設されていること。産直で買った食材をキャンプ場で料理したり、公園やドッグランで遊んだついでに買い物や温泉を楽しむなど、一つの場所で様々なことを体験できる強みがあります。

一つの場所で
様々なことを
体験できるのが
強みです



こうしたサービスを支えているのが、約40名の従業員たち。それぞれの職場で一人ひとりがプライドを持って働いていますが、仕事の幅をさらに広げるため、温泉から産直へ異動させるなど、意識的に配置換えも行なっています。また、月に1度は部課長ミーティングを実施。各課の情報共有や希望を吸い上げ、運営に反映できるよう現場と経営がダイレクトにつながるラインを作っています。

第三セクターという安定した企業ではあるものの、独自の個性をさらに磨き、利用客に喜ばれるサービスを進化させていくことが今後の目標。ハードの充実だけでなく、自然や歴史を楽しむアクティビティの開発や旧橋場駅や旧橋場小学校などと連携したイベントの企画など、ソフトの充実にも力を入れていきます。



一番大切なのは、人とのつながりを築くこと。

駅長
佐々木 大さん

役 場職員だった父の背中を見て育ったせいか、地域に貢献したいという思いが強くありました。前職で農業に携わっていたこともあり、雫石の農産物をもっと多くの人に届ける仕事がしたいと考え、入社したんです。現在は道の駅の駅長として、売店全体の仕入れや管理、お中元・お歳暮の商品企画などを担当。最近では、道の駅オリジナルの日本酒の商品開発にも携わりました。ここは、豊富な野菜や食肉加工品を始め、温泉やキャンプ場など、雫石の良いものが凝縮された施設。従業員も個性的な面々が集まっていますので、個々の仕事のやりがいとチームとしてのまとまりを意識しながら社内の舵取りをしています。一番大切にしているのは、人とのつながり。たくさん産直がある中でうちに納品してくれる生産者と信頼関係を築けるよう、常に真摯に接することを心がけています。雫石町は自然が豊かで、趣味のスキーやバイクを楽しむのはもちろん、子育てにも最適な町。休日は子どもたちとドジョウやメダカ獲りを楽しんだり、自然の中で思いっきり遊んでいます。



個々の
仕事のやりがいと
チームとしての
まとまりを意識
しています

【PROFILE】 雫石町出身。町内の農業法人で米づくりを担当していたが、2010年に株式会社しずくしいに入社。駅長として全体の管理を担いながら、訪れる子どもたちの満足度を上げるためカブトムシを活用した企画を画策中。プライベートでは、3人の子ども(6・5・3歳)の良きパパでもある。

株式会社 ベアレン醸造所

HPは
コチラ

岩手発のうまいビールで、世界中の人々をハッピーに。



39

ヨーロッパの
伝統的な製法から
生み出される
ビールです



社に愛着を持つ社員ばかり。様々な懇親会も多く、社員旅行の際には異なる部署のメンバーで班を構成するなど、部署の垣根を超えたつながりを深め、風通しの良い職場づくりを心がけています。また、社内改革にも積極的に取り組んでおり、全部署のメンバーから選出した働き方改革チームと総務チームが中心となって、女性活躍推進、子育て支援、長時間労働の削減、処遇改善など、幅広く実施。子育て支援の対象を拡大したり、年間休日を増やしたり、昇級率をアップするなど、確実に改革を進めながら、社員が働きやすい環境をアップデートしています。雫石工場の新設をはじめ、最近では野田村の「涼海の丘ワイナリー」と協働してスパークリングワインを開発するなど、異業種連携にも取り組む株式会社ベアレン醸造所。ビールづくりを通して地域を元気にする挑戦は、まだまだ続いていきます。

LEGEND'S TALK

レジェンドに
聞け!

想いを貫く勇気を持てば、チャンスは拓ける。

雫石工場・工場長
佐藤友彦さん

ベアレンビールとの出会いは、チョコレートスタウトというビールを飲み、その味に衝撃を受けたのが始まりです。当時は飲食店で働いていたのですが、醸造所でトラブルがあり、「お手伝いをさせてほしい」と想いを綴った手紙を送ったことをきっかけに転職しました。直営店での調理担当を経てビール製造の道に入り、現在は雫石工場で、ビールの仕込みから缶の充填に至るまで、一連の製造工程に携わっています。工場というとすべて機械化されているように思うかもしれませんが、ビールづくりはその日の気温や原料の状態によって、微妙に変化するもの。特に糖度はビールの味わいを左右する重要な数値であり、人間の目で麦汁の色や湧き上がり方などを見極め、調整する作業がとても重要なんです。仕事で失敗することもあります。ベアレンファンとの交流やSNSでお客様の「美味しい」という声を聞けることが、大きな励みであり、仕事の原動力。いずれは自分の考えたビールを商品化できるように、雫石の材料やホップの勉強をしながら新たな商品を提案していきたいです。



お客様の
「美味しい」という声を
聞けることが、
大きな励みです

【PROFILE】1981年盛岡市出身。盛岡の高校を卒業後、秋田の大学へ進学。大学時代のアルバイトで飲食店の面白さを知ったことで、北上市内の飲食店に就職。その後、株式会社ベアレン醸造所に転職し、2019年から雫石工場へ。趣味は、サッカーとビリヤード。5歳と1歳の良きパパでもある。

株式会社 ビルド遠藤 零石営業所

- HPは
コチラ



近年は熟練技術者によるバックホウやブルドーザなど重機操縦に加え、新たに「情報通信技術(ICT) 施工」を導入。さらなる生産性の向上と効率化を図るために、現場で3次元データを活用しながら新たなシステムによる施工にも積極的にチャレンジしています。

最先端の技術を積極的に導入しているのも、若い人にとっても魅力大です



現在、社員数は約40名。全ての現場において土木工事の作業工程ごとに現場の責任者が必要とされる仕事のため、技術者も技能者など有資格者が揃い自社施工で対応できるのも同社ならではの強みといえます。

職場環境は安全第一のためにもコミュニケーションやチームワークを大切に。働き方改革にも柔軟に取り組み、完全週休二日制、有給休暇取得90%以上達成、男性の育児休暇取得実績もあるなど、より働きやすい環境づくりに努めているところです。職場でキャリアアップしながら、さらにワンランク上の資格取得を目指してみたいという人にはフォロー体制も万全です。

「働く人それぞれが輝きながら、仕事を通じて幸せな人生を送っていけるように」と願う同社は、地域経済の一端を担っているという自覚のもと、地域を支える役割を担う企業として成長し続けるためにも、「人のために働きたい」、「地域のために働きたい」という意欲ある人材を求めています。



地域貢献 × 働き甲斐を感じる職場です！

土木部
岡野大輔さん

東 京から実家がある岩手にUターンしてきました。もともと建設業に勤めていたので同じ業種で探していたところ、自分の希望する労働条件や勤務形態がこちらとマッチしたのが選択の決め手となりました。以前勤務していたところは都心で、夜勤や残業がありましたが、それに対してここではそういうことはなく、とても働きやすさを感じています。働く環境としても、東京では狭いところやさまざまな制限がされた中での作業が多かったのですが、現在は基本的な工事は河川や道路などが主なので、自然環境の中でのびのびと働くことができます。社員の年齢幅が広く、世代が違う人とのコミュニケーションも楽しいところです。地域に密着した感じの仕事が多いので、地元で貢献できているという実感もあります。持っている資格は2級土木施工管理技士ですが、今後は1級の資格取得を目指したいと思っています。資格取得と共に、これからは後輩育成もできる人材に成長していきたいと思っています。



[PROFILE] 1985年東京都出身、岩手県盛岡市育ち。3歳の時に岩手に引っ越して来て以来、幼少期から高校までを岩手で過ごす。北海道の北見工業大学へ進学後、東京の企業へ就職。その後、岩手へUターンして、2018年に「ビルド遠藤」に入社、同社土木部にて勤務。2級土木施工管理技士取得。

HPは
コチラ

ゆき人の森 森の宿



経営理念に「お客様の満足と全従業員の幸福を追求…」と示しているように、同社では理念の達成に向けてさまざまな取り組みが行われています。その一例としてあげられるものに、正社員や嘱託社員を対象にした「マンスリーレポート」の実施があります。これは業務における課題や問題点を自己

お客様も働く人も
笑顔になれる
場所を心がけて
います。



で見出し啓発を促すとともに、経営改善にも大いに活かされています。また、従業員の意見を大切にしたり取り組みとして、従業員アンケートをもとに行動計画を作成・実行する「ゆこたんの森行動計画」を行っています。2014年にスタートしたこの計画は、これまでに、「読書室の設置」、「地域特選ショップの設置」、「森のこうさくプラン」が実行され、従業員はもちろんお客様からも好評を得ています。こうした取り組みは従業員の声が生み出し反映されるばかりではなく、他部署との連携によるコミュニケーションも図ることができ従業員満足度向上にもつながっています。

基本的なところでは、協調性の向上や人間関係の構築につながる「あいさつ」の徹底、ハラスメント対策の徹底、さらに、給料・各種手当や休暇制度など待遇面の改善、業務に必要なスキルの向上へのバックアップ、働きやすい職場環境の整備にも積極的に取り組んでいます。お客様はもちろん、従業員一人一人に寄り添いながら、地域に無くてはならない施設としての成長を目指しています。



お客様の「また来るね！」の笑顔が原動力

宿泊課
小坂佳奈恵さん

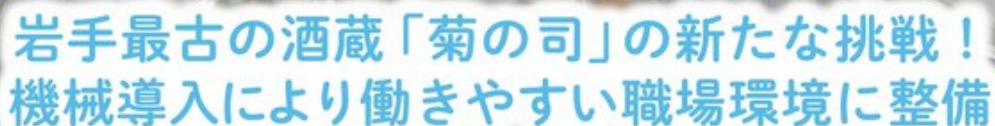
雲 石高校を卒業後、東京の料亭で働いていましたが、家の事情により1年半ほどでUターンしました。もともとサービス業に携わっていたので、それを活かせばいいなと思っていましたが、「ゆこたんの森」は名前にも魅かれましたし、通勤に便利な場所ということも選択のひとつのポイントとなりました。今は予約をメインとしてフロントの業務に携わっていますが、一通りのことを教わってきたので給仕業ほかオールラウンダーとして働くことができるようになりました。同じ部署には6人のスタッフがおり、周りの方も細やかにフォローしてくださるので働きやすい職場だと実感しています。入社して13年目になりますが、自分で工夫していることといえば、時間配分を自分の中できちんと決めて上手に動いていくことですね。あとは、周りとも声を掛け合って情報共有しながら仕事をしています。この仕事は、自分なりにやりがいとなるものを見つけていけば、働く楽しさや喜びにつながっていくと思います。



いずれは管理業務にも
チャレンジして
みたいです

[PROFILE] 1987年岩手県雲石町出身。高校卒業後、東京の料亭での勤務を経て岩手にUターン。サービス業に携わってきた経験を活かそうと考え、「ゆこたんの森」に2009年に入社。同社の新企画「森のこうさくプラン」企画・運営に携わるなど、業務+αで積極的にアイデアを発信している。

HPは
コチラ



酒造りの現場は、毎日仕込みを朝9時頃から開始。蒸し上がった米はクレーンで持ち上げて放冷機を経て、エアシューターで作業場へ。ここからひと月かけて発酵を待つ間にも、米麴の手入れ、もろみや酒母の管理、瓶詰、成分分析…さまざまな作業が行われています。酒造りは専門知識をもつ南部杜氏を中



伝統的な酒造技術と最新の設備を駆使した酒造りです。



心に行われ、ほか工場内の作業やショップの対応には全社員があたっています。1日の労働時間は8時間のシフト勤務で週休2日制。衛生管理や安全対策、社員が働きやすい環境が実現されています。

現在、在籍している酒造りのプロである蔵人たちは、20代～60代男女合わせて約10名。力仕事苦手な女性でもできるよう環境整備を進め、後進育成や処遇改善へも注力してきたことが、若い世代の定着にも繋がっている理由のひとつかもしれません。酒造会社に関わるといっても、お酒が飲めなくても問題ありません。まずは日本酒に興味を持ってもらうことが大事です。酒造りや研究をしたい、日本酒を世界へ広げたいという意欲ある人材を迎えながら、自慢の地酒を国内外へと発信していきます。



日々研究を重ねながら、日本酒のおいしさを国内外へ発信

杜氏
西舘誠之さん

高校は盛岡農業高校へ進学し酵母の研究をしていました。家業が酒屋でしたので、いずれ家業を継ぐ者として「もっと酒の事を知らなくては」という思いもあり菊の司酒造へ入社しました。酵母づくりや酒の管理業務を任されるようになった頃、突然、上司が倒れてしまいそのまま管理全般を任されるようになりまして、さらに家業の酒屋も閉めることになってしまったため、勤め続けて現在にいたります。もともと何かをつくるのが好きでしたし、米がどうしてあの味になるのか？ということにも興味がありましたので、どんどん探究心が沸いてきて気付けば30年経ちました。こうして工場が新しくなり、機械の導入も進み、衛生面的にも働きやすい環境が整ったので、杜氏として、いかにおいしくていいものにするか、より一層酒造りを研究していきたいと思っています。また、地元でつくった日本酒を海外へどうやって発信して広めていけばいいかについても今後の課題として取り組んでいきたいと思っています。



新工場になり男女問わず働きやすい環境が整いました！

【PROFILE】 1975年岩手県盛岡市出身。盛岡農業高等学校卒業後、実家が酒屋であったために「酒の知識を深めていずれば家業に活かされば」と、菊の司酒造株式会社に入社。上司の退職により酒の管理全般を任されるようになり、本格的に杜氏としての道を歩む。現在、後進の育成と共に美味しい酒を追求し続けている。



雫石町企業紹介
ガイドブック

Shizukuishi Company Guidebook

雫石町役場 観光商工課

岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1

TEL 019-692-6497